

皆様に支えられて
50号達成

広島市シニア大学院 OB 会ニュース

創刊50号・記念号

発行責任者 OB会会長 伊藤泰彦

自治会活動

ボランティア

OB会の歩み



赤い羽根募金



会場設営



平和公園清掃



講座受付



懇親会で脳トレ



新年祈願祭



カートラダ寄贈



東洋のマチュピチュ



①



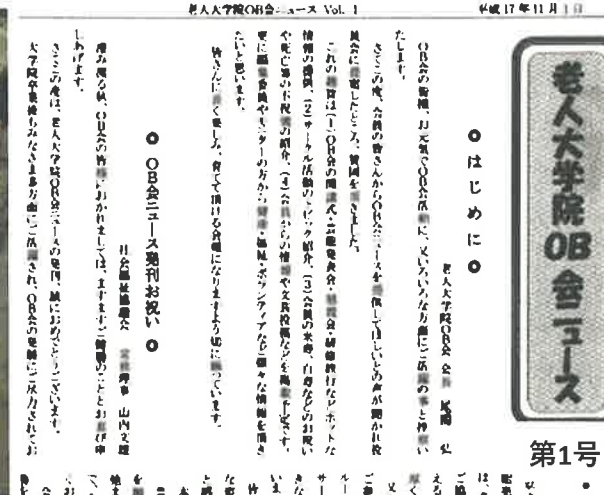
②



③



④



きずなOB

30周年記念特別号
(第11号)
平成23年3月1日



広島市老人大学院OB会



仮装コーラスグループ



ありがとう!!
千田町の福祉センター
ボラセン感謝祭会場
平成28年8月25日(日)10時



広島・災害復興
助け合おう!

第22回趣味
の芸能発表会

《 ボランティアの写真の内容は「きずなOB19号」に掲載します。》

- ① 祇園まちづくりプランプロジェクト
- ② 車椅子の介助
- ③ 公民館でパソコン指導
- ④ 小学生の登下校見守り

創刊号から50号までの歩み

【凡例】

【会員数】 A班/B班/合計
【収入・支出・繰越金】 単位・千円
【芸能祭】 回/出演数

【米寿】 白寿/米寿
【祈願祭】 懇親場所/祈願祭/互礼会
【平和公園】 夏/冬
【講座出席%】 A班/B班/全体
【懇親会】 場所/参加者数/ AB/1.2.5.6班/3.4.7.8班

【赤い羽根】 募金額/参加者数
◇ ― はデータ不詳

年 度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
会 長	尾 関 弘	前 田 久 治	安 藤 市 人	光 廣 礼 二	光 廣 礼 二	木 村 暢 宏	田 村 吉 也	岸 野 為 次	明 賀 彦 太	小 松 清 志	天 畠 重 博	新 宮 勝 哉	伊 藤 泰 彦
期	26	27	28	29	29	31	32	33	34	35	36	37	38
OBニュース	1～3	4～9	10～15	16～20	21～23	24～27	28～30	31～34	35～38	39～41	42～44	45～47	48～50
きずなOB	1号	2.3号	4.5号	6.7号	8.9号	10.11号	12.13号	14号	15号	16号	17号	18号	19号
会 員 数	372/291/663	384/273/657	372/291/663	377/279/656	377/289/666	375/281/656	383/275/658	398/275/673	408/269/677	412/281/693	438/282/720	395/334/729	434/321/755
収 入	―	2,249	2,140	2,014	2,298	2,737	2,639	2,957	3,064	3,175	3,267	3,273	予算 3,130
支 出	―	1,804	1,813	1,741	1,626	2,115	1,724	1,956	2,007	2,091	2,222	2,408	予算 2,529
繰 越 金	―	445	327	273	672	622	915	1,001	1,057	1,084	1,045	865	予算 601
芸 能 祭	13回/ ―	14回/36	15回/41	16回/42	17回/45	18回/45	19回/48	20回/52	21回/53	22回/49	23回/38	24回/40	25回/37
研修旅行	鳴門うずしお、小豆島寒霞溪紅葉散策/62	九州国立博物館、阿蘇山/72	出石散策・伊根湾遊覧船・天橋立/48	熊本城、蓮華院、誕生寺/72	彦根城、三方五湖、気比の松原/68	談山神社、興福寺、室生寺/66	郡上八幡、白川郷/50	雪山観音、九年庵、三船山楽園/68	山鹿灯籠、阿蘇山、山鹿温泉/67	平等院、竜安寺、下賀茂神社/108	コウノトリの郷公園、伊根の船屋遊覧、天橋立/79	大塚国際美術館、伊弉諾神社、王子動物園/93	かやぶきの里美山、京都、東寺特別拝観/
末尾の数値は参加者数	吉岐島/96	伊勢神宮、二見が浦、鳥羽、伊勢志摩/60	美山町かやぶきの里・高台寺・泉涌寺/104	阿波おどり会館・善通寺・開明学校/52	高野山奥の院、三段壁/65	天草、向陽寺法話・雲仙がまだすドーム/56	竹田町並み・高千穂峡/75	式年遷宮伊勢神宮・おかげ座/70	☆出雲大社、島根ワイナリー、松江フォーゲルバーグ/111	☆うどん作り体験・善通寺（開創1200年）/87	☆大根島、由志園（牡丹の館）/105	☆伊予大洲街並み、肱川川下り/124	☆秋吉台サファリランド、萩明倫館/111
☆印は日帰り・無印は一泊	☆鞆の浦、大和ロケセット・史跡めぐり/124	☆三瓶埋没林公園、奥田美術館/108	☆しまなみ島めぐりクルーズ、大山祇神社、御手洗街並み散策/109	☆吉備津神社、吹屋/127	☆竜野そうめんの里、姫路城、太陽公園/101	☆ゲゲゲの女房の舞台境港/111	☆松江、堀川遊覧/94	☆錦川鉄道、津和野、徳佐りんご/118	☆瀬戸大橋、倉敷美観地区、由伽山蓮台寺/115	☆世羅ワイナリー、帝釈峡/128	☆長府東行庵、功山寺、毛利邸/103	☆安来、清水寺、安来節鑑賞/126	☆別子銅山、タオル美術館/73
米 寿	0/19	1/14	0/10	0/20	0/12	0/15	0/18	0/13	1/15	0/17	0/14	0/11	0/18
祈願祭	―	鯉城/54/81	鯉城/54/99	鯉城/61/103	鯉城/60/110	鯉城/71/100	国際/72/93	国際/86/113	国際/99/103	国際/98/100	国際/123/112	国際/125/119	国際/109/109
懇親会	―	鯉城/AB/65/57	鯉城/AB/77/74	鯉城/AB/67/90	鯉城/AB/55/82	鯉城/AB/47/69	国際/AB/55/61	国際/AB/44/86	国際/AB/67/81	国際/AB/63/88	国際/AB/68/91	国際AB/78/74	国際AB/76/59
	―	鯉城/A77/B92	鯉城/A66/B119	鯉城/A98/B90	鯉城/A78/B105	鯉城/A84/B83	鯉城/A74/B73	国際A91/B91	国際A62/B67	国際A58/B/47	国際A64/B59	国際/A57/B72	国際/A65/B74
平和公園	－ /17	－ /33	60/50	74/雨天中止	74/48	130/57	75/58	84/雨天中止	83/68	94/82	83/98	98/103	106/161
講座出席%	60	58/70/63	58/69/63	60/71/65	61/70/65	63/73/67	61/75/67	64/77/69	60/75/68	65/74/68	64/76/69	66/73/69	
赤い羽根	46,550/老大G50	106,644/20	77,393/16	雨天中止	雨天中止	46,550/50	―	―	― /40	40,000/13	54,000/14	45,000/16	79,852/16
特記事項	◇OB会ニュース、きずなOBを文化学習部が11月1日に発行開始。自治会活動の模様、サークル紹介、会員の投稿、耳よりの健康話、会員の訃報等で構成 ◇OB会旗作成	◇開講式の会場を青少年センターから県民文化センターへ変更 ◇OB会ニュースをホームページへ掲載開始 ◇芸能祭で仮装コーラスに爆笑 ◇米寿に加え白寿祝を追加	◇会則の施行規定、芸能祭の要領、要項を制定 ◇テキストへ掲載 了承者の住所、電話番号を掲載 ◇12.1.2月は県民文化センターで講座を実施	◇会費を15年ぶりに2,500円から3,000円に改定。OB会旗の制作、OB会ニュースを欠席者に郵送し全員配布とする ◇開講式で新役員が壇上へ登壇し挨拶	◇「OB会会則規定」、「芸能発表会開催要綱・実施要領」を制定 ◇中間部長会を中間決算役員会への格上げ ◇印刷室・コピー機の利用基準の制定 ◇新任役員用のガイドブック「〇〇年度役員必携」の作成	◇結成30周年/2月18日/メルパルク広島/記念式典、記念祝賀会/祝吟、舞、琴、スピーチ、演奏、合唱等功労者を表彰 ◇きずなOB/30周年記念号/30年の歩み、投稿、行事、写真	◇老大ボランティアグループが社会福祉協議会会長表彰を受ける ◇懇親会会場を「鯉城会館」から椅子席の「国際ホテル」へ変更 ◇総務部へ会計部を新設	◇趣味の芸能発表会を第20回記念大会とし、「竹屋ギターマンドリンアンサンブル」の特別出演 ◇広島市社会福祉大会で老大ボランティアグループが広島市長賞を受ける ◇きずなOBを年、一回発行に	◇研修旅行を日帰りを1回から2回、一泊旅行を2回から1回へ変更 ◇OB会ニュースへカラー印刷を導入	◇広島土砂災害、見舞金募金活動/64,800円 ◇総務部の会計と芸能を独立し会計部と芸能部を設置 ◇新建屋移転へ向けて啓蒙活動と準備計画	◇B班を4年から5年在籍を中間役員会で決定。34期がもう一年B班へ残留することに ◇新建屋移転へ向けて周知と準備計画	◇8/28「ボラセン感謝祭」開催。各団体の活動紹介、芸能発表 ◇12/5千田学舎から「Bigfrontひろしま」へ移転 ◇芸能プログラムへ広告掲載（5社） ◇A班とB班のバランスをとるため、B班の在籍期間を4年から5年に変更	◇広島市シニア大学院OB会に校名変更、会旗、幟旗等の変更作成 ◇9/1広島市施策の「いきいきポイント」対象団体となる ◇新会場での芸能祭 ◇講座受付を別室で実施 ◇ホール使用料が免除となる ◇プロジェクターの活用 ◇30年4月に特別講座を実施

新年を迎えて

OB会会長 伊藤 泰彦

新年おめでとうございます。

OB会の皆様には、元気で輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、平素よりOB会運営に対しご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年、総会前から年間実行計画としての方針、目標を思考し準備してまいりましたが、OB会の名称変更、テキスト編纂、センター移転に伴う諸行事遂行の会場運営、いきいきポイントの実施等を、皆様のご意見ご指摘をいただきながら、「明るく、楽しく、前に向いて」をモットーに、元気で怪我の無いよう努めてまいりました。

「あつ」と言う間の6、7か月でした。

新年を迎えて、来年度の事業計画策定は勿論のこと、新会員の募集、継続更新、改称一周年記念特別講座の開催、創立40周年記念事業の検討など多くの課題が山積しております。また、これは大変喜ばしいことで

すが年々会員が増えて、2年後には「800名を超えるのでは？」と思っております。皆さんにご不便をおかけしないよう、開講式、講座開催等の諸事業運営に対応するため、諸先輩が築かれた歴史を思いながら、社会環境の変化に伴って「変えるところは変えて」効果的な活動を一層推進していかねばなりません。今年が「その第一歩」であると考えます。

こうした中、会員の方々のご協力をいただきながら、健康増進と「明るく・楽しく・生き甲斐づくり」を目指して、本年は、戊戌（つちのえいぬ）年だけに「ワンダフル」な良い年になるよう、皆様にとつて豊かになるよう努めてまいります。

今後とも、OB会活動にご協力を宜しくお願い申し上げます。

50号発行に当たり自治会長経験者の方に当時の思い出や取り組まれた内容、提言等を投稿いただきました

OB会ニュース創刊50号達成

おめでとうございます

26 期会長 尾関 弘

まずはOB会ニュースが50号に達しました事、誠にありがとうございます。

振り返りますと、第一号は、平成17年、小生がOB会へ入会して二年目でした。会員、役員からも「OB会のホットなニュースを提供して欲しい、提供したい（一号に主旨記載）」の思いが一致して弊会長時11月1日に発刊させていただきました。

当時は、予算も少なく、また部の活動を超えて、主にPCフレンドサークルの皆さんの力を借りて、原稿募集、パソコン入力、編集、校正、印刷・・・すべて自前で配布期限ぎりぎり迄努力頂いた事を思い出し、今も感謝の気持ちが蘇ります。

今はニュースが豊富で、ページも増えてカラー化されており、パソコンの機能も向上し編集技術も進歩されています。会員一同待ち遠しいほど興味を持って愛読されていると思います。今後とも何時迄も継続頂き、会員を楽しませて頂きますようお願いしております。

27 期会長 前田久治

会長就任の前年（平成17年度）に26期役員と一緒に多くの事業遂行し

たことが最大の思い出です。パソコン同好者が集いパソコンの勉強会を開き、先駆者を頼りにパソコンを学ぶうちに、インターネットによる連絡で活動が始まった。

*パソコン活用により

(1) OB会テキストの作成（OB会予算の危機に対応）

(2) OB会ニュース・きずなOBの発行（編集、印刷、製本）

(3) 芸能発表会の題目表示の作成

(4) 書道部に依頼の各種手書きの掲示等の作成を行った。

老大OB会旗作成（広島市章使用認可の広島市との交渉が難航した）
会長就任前から不得手な芸能関係に不安があり、責任者の勝手とともに顧問の方も芸能発表会にふさわしい方をと先行し内諾を頂いたが、3月講座日直後に亡くなられ、後任の方の人選に悩んだが、適任者に依頼し顧問に就任頂き、芸能発表会関係者とともに、技と力を発揮頂き芸能発表会を終えることが出来た。芸能発表会吉岡責任者を応援するため27期有志が「仮装コーラス」に出演し以降連続出演し楽しい思い出ができた。新たな取組では、開講式の会場を青少年センターから広島県民文化セン

ターへ変更し、第一回目の講座は「ただいまから平成 17 年度老人大学 OB 会講座を開講します」と宣言し実施することとしました。

米寿表彰を舞台の前から舞台上での表彰式に変更した。手書きだった会員名簿もパソコンのエクセルで作成し次期役員へ引き継いだ。

会則を改正し、文化学習部を文化部と学習部に分割。慶弔に「白寿」を追加した。

29 30 期会長 光廣礼二

私は平成の御代になつてただ一人、2 年間に亘つて会長をしているが、これは次期の会長予定者が家庭内事故で急死され、12 月のことで各部長が既に決定していて動きが付かず、同期の強い要請により止むを得ず留任したものである。

馬拉ソンを走っていてゴールが近づいたら、もう 1 回走れと言われたようなものだ、OB 会ニュースで愚痴つたのを記憶している。

その翌年も OB 会 30 周年記念行事のため、乞われて実行委員会顧問に就任し、その翌年は A 班を代表しての顧問になったため、OB 会入会以降 5 か年間、役員を継続しているが、

これは、「役員当番期制」の OB 会における新記録であり、当分破られることはないであろうと自負している。

在任期間中の思い出

(1) 施行規定、開催要綱等の新規設定

OB 会は入会 1 年目から役員になるが、当時は慣行中心の運営でルールの明示が無く、先輩役員の指示に戸惑っていたので 29 期生が中心となり私が「OB 会会則規定」を、「芸能発表会開催要綱・実施要領」を同期の高中氏が起草して、臨時役員会の開催を求めて、明確にルール化したものである。

なお、この施行規定には後日談がある。制定後数年して総会に改定案が提案されたが、謂わば「生みの親」である私と高中氏が異論を唱え、後に文章で執行部に異議申し立てを行い、結果として期中途中で訂正、改定されている。水面下の動きを含んでいるので、この経緯を知る人は少ない。

(2) 会費の値上げ

会費を 15 年ぶりに 2500 円から 3000 円に値上げした。OB 会旗の制作、欠席者には OB 会ニュースを

郵送し全員配布とした。(当時は出席者のみの配布)

◆懸案事項として(後輩に望むこと)役員就任期間の延長

入会して直ぐ役員となり、それから 2 年間の就任期間となるが、これをもう 1 年延長して 3 年間の幅広い当番期運用が良いと思っている。1 年生の負担を軽くして、現在は無役となる 3 年生をメインとして重用すべきである。特に B 班が 4 年から 5 年に延長された現在では、適切な措置と確信する。しかし、実施に当たつての当面の経過措置として、B 班現役員の 1 年間の留任が必要となる。そのためか、私以降の会長に、改定を打診してみたことがあるが、常に逃げられてきている。しかし、会長 2 年の「留任」の実績がある私には、永遠にこの提案を継続する資格があると思うが・・・如何

32 期会長 田村 吉也

関係機関よりの支援、諸先輩の助力で、通常の事業については、ほぼ計画どおり活動出来た。在任中に、平和公園清掃、赤い羽根募金、ボランティアセンターへの協力、震災義

援金拠出等の活動に対し市社会福祉協議会から会長表彰を受けた。

趣味の芸能発表会では、東日本震災の半年後であったことから、被災地の歌や舞踊、演奏が多く披露され、復興への応援メッセージを贈る発表会となった。

秋の旅は雪の白川郷。一面白銀の世界。雪を粧おつた幻想的な合掌造りの佇まいが印象的だった。

◆改善課題への取組み

(1) A 班と B 班の講座日入替え

(B 班の講座日を第 1 水曜日とする) 班長連絡会と役員連絡会、議決権は後者が優位。従つて先に役員連絡会を開催しその結果を班長連絡会に提起する。このために講座日変更が提案されたが、会員の総意を得られず今後の課題とした。

(2) 定期総会を講座前に開催

講座が終了すると大半が退席、総会に出席する者が大幅に減る。その対応策に論議を尽くしたが解決に至らず。開講式・講座・総会のいずれをも満足させる時間設定は困難と判断した。

(3) 班別懇談会の会場変更

県民文化センター(鯉城会館)で開催していたが和室のため長時間の着席

が困難となり、国際ホテルと折衝、費用面で難航したが椅子席会場での開催となった。

(3) テキストのサイズを A4 に変更
更案

文書の主流は A4。テキストも A4 化を検討したが、バッグに入れにくい等の意見により保留とした。

(4) その他

① 班別懇談会の見直し

各班独自の活動推進(班主体)

② 地下倉庫の整理

整理整頓とグループ別使用エリアを明確にした。

③ 組織の見直し

会計部の設置

35 期会長 小松清志

* 組織の変更

総務部から分割して会計部を設置するとともに、OB 会最大のイベントである「趣味の芸能発表会」の伝統を継承し、更なる発展を目指すため芸能部を新設した。

* 新建屋移転へ向けて引継ぎ事項の中での最大の懸案事項は OB 会が新建屋に移転できるかどうかの問題でした。会員の認識は OB 会が老人大学の延長線上にあるという意識でし

た。そのこと自体は間違いないと思いますが、老人大学は広島市社会福祉協議会（以下、市社協）の運営です。OB 会は自主運営の団体であり、市社協と OB 会とは大家と店子の関係である。この違いが中々理解されていないことでした。懸案事項が発生した場合は市社協に依存するのではなく OB 会で解決するよう心がけることが大切だと思います。

学習部からボランティアを分離独立する案も考えましたが、実行に至らなかった。

* 年度初めの総会で懸案事項となつた会則の改正

役員会で検討を重ね、7 月に臨時役員会を開催し承認を受けました。

会則はフアジーに表現し、慣行（慣習）に従う。↓ 基本理念

※ 役員のポジションについて

OB 会の主役は会員である。私たちは役員は脇役であり、ボランティアであるとの認識を持つと提言。

※ 各部の委員の福利案を提案する。（一部受け入れられませんでした

が・・・）

◇ 提案事項

※ スポーツ保険への加入

会員に対し任意にスポーツ保険への

加入を検討したが実施に至らなかった。

スポーツ保険は、任意加入のため個人負担となるが、OB 会に関わる総ての行事（講座、サークル、班別、同期会、ボランティア活動、往復途上の事故等）に適用される保険である。OB 会活動の総ての事故に対応でき、複数のサークルへ加入している者がスポーツ保険に重複して加入している現状を考えると OB 会が会員の福利としてぜひ検討して戴きたいと思います。

※ 諸事改革は必要不可欠なことです
が、その歴史を認識した上で実行して戴きたい。（温故知新）

36 期会長 天畠重博

会員数の増加に伴い A 班の講座日は満席となり椅子が不足する一方、B 班の講座日は席に余裕がある状況で、バランスが悪くなっていた。これを解消するため、中間役員会で B 班の在籍期間を 4 年時から 5 年に変更した。

次表のとおり均衡の取れた構成となり 28 年度から実施することとした。

年度別 AB 班会員構成

年度	班	人数	%
27	A 班	438	61
	B 班	282	39
28 予測	A 班	438	56
	B 班	348	44

A 班の 33 期の方には役員を 2 年続けてやって頂くことになり大変ご苦労をおかけしました。

新社屋移転関係

移転時期は当初の情報から半年程度後ろにずれたように感じました。情報収集や、「千田町感謝祭」の準備では他のボランティアグループと交流できたことが懐かしい思い出となっています。感謝祭は翌年度、後輩の皆様のご努力により盛大に実施されましたことはご承知のとおりです。

* 『広島市シニア大学グループ安芸区の集』

安芸区内のシニア大学グループで懇親会と講演会を 2 回実施したが、活動と組織作りはこれからといった状況です。

* 同期会活動

36 期会を立ち上げて 1 年半が経ちます。昨年 9 月からの「いきいきポイント」活動を契機に平成 30 年 1 月から毎月 1 ～ 2 回の行事を計画しています。役員は設けずに全員が役員のスタンスで進めています。これから盛り上げていく計画です。

37 期会長 新宮勝哉

私の在任期間中に大きな出来事が三点あったように思います。

一、校名変更

広島市老人大学への入校生が年々減少し、これに危機感を持たれた事務局の方が全学生にアンケート調査を行われました。沢山の意見や要望事項が提出された中から、取り敢えず出来ることから解決して行く事になり、事務局を中心に大学、大学院、OB 会の 4 者で『大学見直し検討委員会』を立ち上げ対応出来るものから検討に入りました。

まずは、校名変更について全学生からアンケート調査を行なった結果、『シニア大学』に決定しました。

OB 会もこれに対応しアンケート調査を行ない、『シニア大学院 OB 会』という名称に決定しました。

二、『学び舎』の移転

千田町の建物が老朽化し危険との見地から、11 月末に、南区松原町に新築された広島市総合福祉センター (BIG FRONT ひろしま) の 5F・6F に移転しました。

12 月 5 日の A 班から新しい施設で講座が始まりました。しかし、会議室の数が少なく、サークル活動の会場を確保する事が難しく運営に支障が生じてきました。

又、講座に使用する大ホールは会議室と併用となつていているため、その都度間仕切り壁を移動させ机、椅子を運んで会場を設営し、講座終了後に元にもどすという煩雑な作業が加わりました。

三、サークル活動の適正化

今までは、OB 会としてサークル活動に特段の定めを設けず自主的に運営していました。一定の規範の下でサークル活動を進めるため『サークル取扱基準』を制定しました。サークル間のトラブルを防ぎ、互いに楽しく活動できるようになったと思います。

四、特記事項

① A・B 班の講座日の入れ替え B 班の講座日に開催される役員連絡会で協議、決定し、その後 A 班の班

長連絡会で説明するのが本来ですが、開催日が逆転しているため検討が必要と感じています。

② 班の活動を積極的に

OB 会には、野外活動等がなく班単位で団体行動をとる機会が皆無です。誰しも、人と人との触れ合いを求めて老大に入学し、OB 会に入会したと思います。講座の聴講のみで帰宅するのではなく、触れ合いの場を設け、会話の輪を広げて気軽に話が出る環境を作れば OB 会がもっともつと楽しいものになると思います。各班とも意欲のある人が前に出て皆を引っ張って頂ければと思います。

③ 各班に活動資金を

班独自の活動がしにくい理由の一つは活動資金がないためではないかと思ひます。一部の人は親睦会と称して、月に何度か飲み会に行く機会を作っていますが、より多くの人が参加できる行事を企画してみたいと思います。我はと思う人はどんどん提案して下さい。

役員会で新しい事に挑戦してみられは如何でしょう。

班活動

《 一班 》

グラウンドゴルフを楽しみました

班長 佐々木浩二

当班は、29 年度から班内の相互交流を深めようとの執行部方針を踏まえて、昨年 8 月 1 日の福屋屋上でのビアガーデンに続き、風光明媚な太田川河川敷でのグラウンドゴルフを昨年 10 月 20 日に実施しました。開催前、10 月の連日の雨で、もうだめかとやきもきしましたが、天気は当方に味方、当日だけ、絶好の秋晴れとなりました。

13 名の参加予定が、体調不良などもあり 10 名となりましたが、お天気で良かった、良かったと連呼、プレイを思う存分楽しみました。

地元のボランティアの人達で見事に管理された常設のグリーンコースの下、3 ゲーム終えた後はスコアを集計、各自手持ち弁当を持ち寄つての昼食、景品を受け取りながら、おしゃべりも弾みました。こんな行事は年 2 回位やって欲しいとの声まで飛び出しました。次は年度最後の行事として、野外に代わって、ひろし



ま国際ホテルでの懇親会を 2 月 21 日（水）に予定しております。多数の方々の参加を願っています。



《二・四班》

合同懇親会忘年会

グラウンドゴルフ大会

2 班班長 吉岡美枝子

平成 29 年 12 月 11 日（月）山県郡芸北町の田原温泉五千年風呂で二、四班の合同懇親会を開催しました。途中、世界でここにだけに自生する天然記念樹の「テングシデ」を見学。五月の新緑の頃が見頃です。グラウンドゴルフ終了後、入浴、食事、カラオケ、ビンゴゲーム等で過ごし

皆さんとの気持ちが一ととなり、素晴らしい大満足な班活動が出来ました。



《五班》

グラウンドゴルフ大会の開催

班長 荒木紀雄

11 月 9 日（木）参加 28 名で好天のもと 5 班恒例の第 5 回グラウンドゴルフ大会を開催しました。太田川新庄橋のたもとにある本格的な 16 ホールの芝コースは手入れも行き届いたアップダウンとアンジュレーションのある素晴らしいコースです。入っても歓声!! 外れても歓声!! 難コースの中でホールインワンも続

出。このコースをホームグラウンドにしている 36 期の堤千賀子さんがホールインワンを二個だし優勝。持ち寄った弁当で車座になつての歓談。期を超えての楽しい集いとなった。次回の 3 月開催が待ち遠しい。



《六班》

班長 佐々木保江

芸能祭のコーラス、夏のビアガーデンでは多数の参加があり充実した活動となりました。坂井滋子さんが米

2 位 岡田 武 (36 期) 4 位 萩守才造 (37 期)
3 位 吉岡晃治 (39 期) 5 位 奥迫郁江 (38 期)

寿表彰された一方で千村 清さんが亡くなられるといった悲しいこともありました。
11 月 6 日（月）に芸北オークランドで懇親会を開催。参加 27 名で和氣あいあいとグラウンドゴルフを楽しんだ後、食事会でもにぎやかに談笑。皆さんから「楽しかったよ」の声を頂き、更にきずなが深まった一日でした。

《七班》

忘年ボウリング大会

班長 小川志野撫

12 月 11 日に、忘年会、賀寿の祝いを兼ねてボウリング大会を開催しました。

私達が 20 歳代の頃は猛烈なボウリングブームでした。数時間待つてもやっていたという 17 名のボウラーと、忘年会のみ参加の 11 名の 28 名で楽しい集いとなりました。

ボウリングではガターやスピアが取れず 100 点を取るのに苦戦の連続でしたが、ストライクが出ると万歳タッチで感激。しばし歓声が響き渡り会場は一気に盛り上がりました。昼食忘年会では、喜寿、傘寿、半寿（盤寿）、長寿の 8 名の方へささやかですがお祝いのケーキをプレゼントし

大変喜んでいただきました。
ボウリングで冷や汗をかいたり、昼食弁当、つまみ、飲み物で満喫でき、有意義な一日となりました。



7 班

自治会活動

《シニア世代 新年安全祈願祭》

中野光延 一班 32 期

平成 30 年 1 月 6 日（土）広島護国神社において恒例の新年安全（健康・長寿）祈願祭を行った。広い境

内では、越天楽が流れるなか、大勢の参拝者が破魔矢、破魔弓、お守り、熊手、お札などを新しく授かっていた。また、お神酒授与所や、各種のおみくじでは、行列が見られて、新春らしい雰囲気だ。

本殿の正面軒下には、今年の干支をテーマにした巨大絵馬（柴犬の親子）と大書「戊戌」（うちのえいぬ）が掲示されている。

私たち OB 会から、計 109 人が集い、案内人に従い控室から悠久殿に移動した。室内では、宮司が「ドン、ドン」と太鼓を叩く音色が響く。宮司の祝詞が始まった。一同は、坐ったまま頭を下げ拝聴した。

その後、全員が起立して伊藤自治会長が代表して小忌衣を着用、玉串を奉てんした。代表に合わせて二礼、二拍子、一礼した。宮司が「戊戌は、良いこと悪いことも起きる、と言われる。皆さん健康でお元氣をお祈りします」とミニ解説があった。授与品の布巾などをいただいた。

OB 会の在籍数は、現在計 750 人。高齢化社会を迎えて、会員数が年々増加することが予測される。伊藤会長は「この一年、明るく楽しく笑顔で、前を向いて行動したいとお願い

した」と意気込みを話していた。
新年安全祈願祭の後に、ひろしま国際ホテルに、大方の人が移動、「新年互礼会」が盛大に開催され親睦を深めた。

1939 年（昭和 14 年）招魂社から広島護国神社と改称、1945 年（昭和 45 年）原爆により大鳥居以外が完全に破壊された。広島東洋カープは、必勝祈願のためにチームとして例年一月に参拝することでも知られている。

《別子銅山への旅》

11 月 24 日（金）寒い中、73 名がバス 2 台で四国愛媛へのバス旅行に出発。レストハウスで讃岐うどんを頂き世界遺産の観光へ！！

時は元禄四年（一六九一年）、刃傷松の廊下騒動の十年も前、時の將軍は、犬公方で名高い徳川綱吉。そんな時代になぜこの山で「銅山」が発見されたのか。そんな胸膨らませる天空の歴史遺産「東洋のマチュピチュ」への旅である。

車の離合も難しくなった山道を 30 分も登って行くと三百年前へタイムスリップだ。

そこにはかつて五千人も人が住み、学校、病院、発電所等生活施設が完備した住居エリアと採鉱施設の遺構が緑に包まれた山に多数残っている。地中深く伸びた坑道を下り熱と湧水に悩まされながらノミで切り出した鉱石が背負子で運び出される。山肌にへばりつくように敷設された鉱山鉄道で、花崗岩を積み上げた貯鉱庫へと集められる。

目の前でそんな光景が繰り広げられているような錯覚を覚える。

日本の産業を支えるとともに近代化の礎を築き、当時は、世界一の産銅量を誇り、三百年もつづいたこの鉱山も昭和 43 年について廃坑となる。忍耐強く英知にたけた当時の人々を誇りに思える旅であった。

《A 班・B 班懇親会》

10 月 25 日（水）の A 班の懇親会（参加 63 名）に続いて、B 班の懇親会（参加 74 名）が 11 月 15 日（水）に国際ホテルで開催されました。

今回から、ストレッチ体操と脳トレタイムを取り入れたことにより、参加者の会話も弾み、会場の雰囲気も

和み、より活性化されました。

《班長・事業部長懇談会》

12 月 15 日（金）班長、事業部長懇談会がメルパルクで開催されました。今年度の活動を踏まえて、次年度へ向けた活動方針等が議論されました。主な内容は次のとおりです

- ・ 班、事業部主体の事業運営について
- ・ 会員増加への対応について
- ・ 開講式会場、事業運営資金の確保
- ・ 班活動の活性化について
- ・ 40 周年記念行事の開催について
- ・ 研修旅行の時期変更について
- ・ 懇親会の実施方法、会場の確保について

《サークル代表者会議》

1 月 10 日（水）と 17 日（水）の講座終了後、各サークルの代表者による代表者会議が開催されました。各サークルの活動状況、サークル登録、新年度のテキストへの掲載申請について打合せが行われました。

《OB会継続更新手続き開始》

会員の継続更新手続きが開始されま

した。最終申込期限は

A 班 3 月 7 日（水）の講座日
B 班 3 月 14 日（水）の講座日
期限内に必ず更新手続きをお願いします。

《赤い羽根街頭募金活動》

― 過去最高の募金額 ―

* 平成 29 年 11 月 17 日（金）
（12 .. 00 ～ 12 .. 50）

* 参加者 58 人（シニア大学・大学院・OB会の各役員）

* 今年はそうごう周辺だけでなく本通り交差点の対面側も募金活動が可能となり範囲が拡大した事もあって過去最高の募金額（79,852 円）でした。

* バスを待つている人や道行く人々に声かけをしながら、カープシルや子供用ワッペン、ティッシュ等を手渡して募金を呼びかけた。

《平和記念公園クリーン

ボランティア活動》

― 過去最多の参加者 ―

* 平成 29 年 12 月 1 日（金）

（10 .. 00 ～ 11 .. 00）

* 参加者 324 人（シニア大学 108・大

学院 55・OB会 161）

* 初冬の寒空のもと、大学・大院・OB会別に三箇所に分れて公園内の清掃を行った。

* 平和記念公園内のそれぞれの碑に眠っておられる皆様も喜んでおられる事と思います。ご協力ありがとうございました。

《被災地支援活動》

― 支援受け入れ箱の設置 ―

今年度から各講座日に、会場の後方に小さな箱を置いておりますがOB会員皆様の温かいお心で小さな箱が毎回満杯状態で（時には入りきれなくて外に出ていたりしますが・・）もう少し大きい箱にすれば良かった！と嬉しい誤算を喜んでおります。ボランティア情報センターの杉野由美コーディネーターが 12 月の講義中に皆様にお礼を述べておられましたね。

学習部から皆様のご協力に厚く

御礼申し上げます。

これからも宜しく
お願い致します。



《平成 30 年度講座講師選任》

― 講師 11 名決定 ―

OB会員の皆様から 20 名の素晴らしい講師の紹介を頂き有り難うございました。

今回は、選任基準として同じジャンルの講座内容の紹介が複数あった場合は、今までOB会で講義をして頂いていない講師をお願いをする事としました。来年度をお楽しみ頂きたいと思います。

ご紹介頂いた皆様、有り難うございました。

特別講座開催のお知らせ

広島市シニア大学改称一周年を記念して
特別講座が開催されます

講師 勝丸恭子（気象予報士）

・天気と気象のヒミツ

・命を守る気象情報

◇ 4 月 14 日（土） 13.30～15.00

◇ 社会福祉センター 5 F ホール

ボランティア活動

「きずな OB 19 号」ではボランティア活動特集します。

11 月の講座日に会員の皆様のボランティア活動の状況を、「いきいきポイント手帳」より把握させて頂きました。

当日、欠席があるうえ、「いきいきポイント」登録外で活動されている人もいますので、全てではありませんが皆様の参画状況を取りまとめました。

投稿文では多くの方が地域でいきいきと活躍されている様子が伺えます。

内容は「きずな OB」へ掲載いたしますが、誌面に限度があるため取りまとめて掲載させて頂く場合がありますのでご了承下さい。

◇ボランティア活動の概要

「いきいきポイント手帳」の 2 ポイント及び 4 ポイント欄へ押印のある人を班別に把握しました。

実施者は 139 名でそのうち 4 ポイント対象の人は一割強でした。11 月の会員数 753 名に占める割合

は 19 % ですが、欠席者を除くと 27 % で三割近い人がボランティア活動を行っております。

活動内容は多岐にわたっていますが主なものは次のとおりです。

* 町内会行事

行事支援、清掃、健康体操、防犯活動

* 老人会

清掃、遊具点検、環境指導、安全推進

* 高齢者支援

手作り弁当の配布、敬老会行事支援、訪問支援

* 障害者支援

社協行事支援、手話、点訳、音訳車椅子介助

* 公民館活動

パソコン指導、花壇の管理

* 平和公園

記念館展示の案内、平和施設の案内

* 老健施設等

慰問公演、車椅子清掃

* 地域の子供見守り
子育て新聞の切り抜き、子育て相談、登下校見守り

訃報

吉山 政弘様 (94 歳) 3 班 18 期

平成 29 年 10 月 11 日

堀田 興治様 (83 歳) 3 班 27 期

平成 29 年 10 月 20 日

千村 清様 (81 歳) 6 班 38 期

平成 29 年 11 月 4 日

増村 フミ子様 (86 歳) 4 班 26 期

平成 29 年 11 月 8 日

岡田 滋様 (81 歳) 2 班 30 期

平成 29 年 12 月 2 日

寺田 太信様 (76 歳) 1 班 33 期

平成 30 年 1 月 18 日

ご逝去されました

会員一同謹んでお悔やみ
申し上げます

編集後記

平成 17 年に創刊された OB 会ニュースが 50 号の節目を迎えるにあたり、会の歴史をまとめてみました。次へのステップになればと思っています。

発行に際し、過去の資料や、先輩会長の話をお聞きし、今日の OB 会があるのは、並々ならぬご努力と、ジレンマを乗り越え異なる意見をまとめながら、会の運営にあたられたからだと感じました。頭の下がる思いです。会員それぞれが会の運営に積極的にかかわり協力することで、OB 会が活性化したいと思います。

各種資料の収集では、ご協力いただきました皆様に感謝を申し上げます。50 号の発行を持って、本年度の OB 会ニュースは終了いたします。

カラー化を図り、一人でも多くの方にご登壇いただき、輪が広がることをモットーに進めてまいりました。今後も皆様の声を掲載していきますので、ご支援のほどよろしくお願い致します。